

<報道資料>

PATA財団が、日本救済募金を設置



PATA(Pacific Asia Travel Association: 太平洋アジア観光協会)は、PATA Foundation(PATA財団)を通して、今回の「東北地方太平洋沖地震」により被災された方々や被災地の復興を目的とした「日本救済募金」への協力を全世界のPATA会員に呼び掛けております。募金は、PATAのウェブサイトの専用ページから申し込みが可能で、現在までにPATAニューヨーク支部、PATAフロリダ支部などから募金が寄せられています。 <http://www.pata.org/Donate>

PATA暫定CEOを務めるビル・カルダーウッド(Bill Calderwood)は、次のように語っています。「今回、日本に襲いかかった災害は私たちの想像を遥かに超えるものです。今出来ることは、一刻も早く日本救済基金を集め、PATA日本支部を通して被災地の方々の救援と復興のお役に立てるよう努めることです。旅行業に携わる全世界のPATAメンバーに、日本に対する深い思いやりと支援の精神に基づき、PATAメンバーが団結するよう呼びかけています。」

1984年に設立されたPATA財団は、アジア・太平洋地域の旅行産業の維持と発展に寄与すべき、環境保全、文化財保護、人材開発などの分野で活動を続けています。

本報道資料についてのお問い合わせ:

PATA日本支部事務局(担当: 古関)

Tel)03-3455-5339 e-mail) info@patajapan.com

PATA(太平洋アジア観光協会)は、太平洋アジア地域への観光客誘致及び域内交流の活性化を目的に、1951年にハワイで設立された広域観光団体です。事業本部は米国・サンフランシスコ、運営本部はタイ・バンコクに構え、政府会員、航空会社、旅行会社、ホテル、メディアを中心に世界に2,200のメンバーが会員として参加しております。

www.pata.org (英語サイト) www.patajapan.com (日本語サイト)